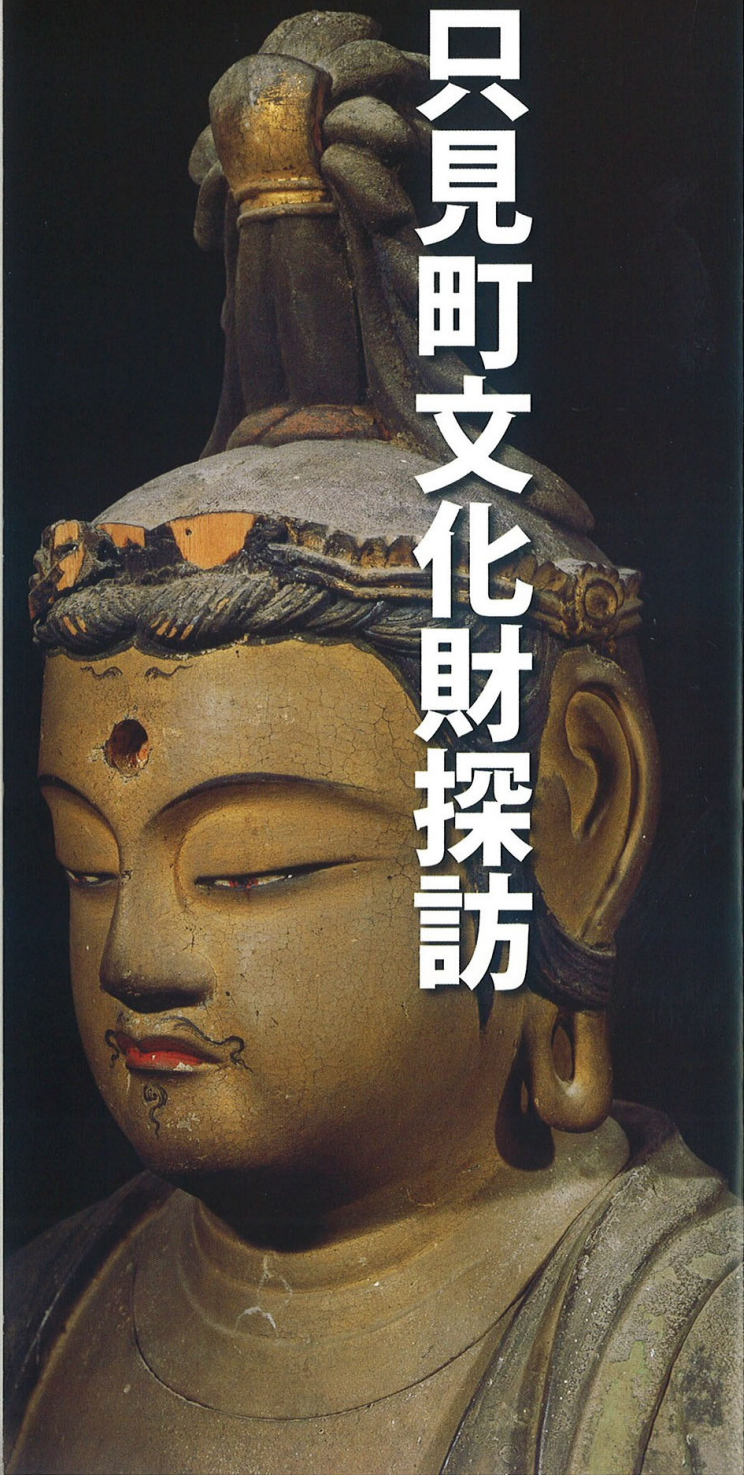


只見町文化財探訪



彫刻



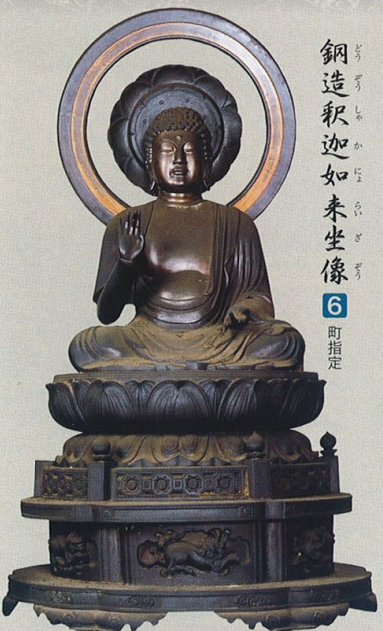
木造聖観音菩薩坐像 4 県指定
 「人肌観音」とも呼ばれ、金泥塗を施された人肌に近い彩色は、原初の美しさを留める。応長元年（1311）の銘があり、鎌倉時代末期の只見地方の仏教文化を象徴する仏像で、会津地域では類例が少ない。槍材、割矧造り、彫眼。像高75cm。

鋼造阿弥陀如来坐像 5 町指定



元文2年（1737）、瀧泉寺中興4世の快栄が本願主となり造立。作者は佐野天明（栃木県）の長谷川弥市で、天明期を代表する鋳物師の一人。弥市作は、白河、棚倉にも見られるが、会津では瀧泉寺のみで希少。像高69cm。

鋼造釈迦如来坐像 6 町指定



元文3年（1738）、瀧泉寺中興4世快栄の没後、弟子の伝栄により造立。作者の早山安次は、中世から会津を本貫とする早山鋳物師の12代を継いだ人物。土津神社燈籠や鶴ヶ城の時鐘を鋳造した作者として知られる。像高63cm。

木造阿弥陀如来坐像 7 町指定



やさしく穏やかな表情、洗練された作風、鑿跡を残す丁寧な仕上げから中央の作風である。南北朝時代の優れた造形を備える作例で、この時代における只見地方の文化水準の高さがわかる。カッラ材、奇木造、彫眼。像高21cm。

建造物



成法寺観音堂 ① 国指定

成法寺境内にある和様と唐様をとりまぜた端正な観音堂。永正9年（1512）の巡礼札から室町時代後期の建築とみられる。聖観音菩薩坐像とともに中世の只見地方の高い文化水準がうかがえる。桁行3間、梁間3間。御蔵入三十三観音一番札所。



長谷部家住宅 ③ 県指定

江戸時代、叶津番所と呼ばれ、会津と越後を結ぶ八十里越の関所として通行人や物資の出入りを監視した。叶津村名主宅でもあり、明治時代には戸長役場として使用された。桁行13間近い規模の大きな蔵中門造りで、江戸時代後期の建築。



旧五十嵐家住宅 ② 国指定

享保3年（1718）に建築された県内では最も古い農家住宅。日本海地方に多い木割の太い系統の民家で、土間・土座敷の居間・寝室・座敷からなる。柱はチヨウナ（斬）で仕上げられている。桁行7間、梁間4間。寄棟造、茅葺。



雪深い只見地方で使われてきた農耕、狩猟、漁撈、ゼンマイ採取用具と仕事着のコレクション。サクラマスを獲得するマス力ギやマスドウ、屋根かきや伐採の神事に使われた巻物、サシコハンテンは特に貴重。生産用具1,917点、仕事着416点、合計2,333点。

重要有形民俗文化財



第一製塩場附近見取図

塩沢集落では古くから山塩の生産を行っていた。その製塩の様子を描いた明治末期の図3枚、昭和22年の図1枚、解説文2枚の計6枚からなる。山塩生産の歴史や技術を知る上で極めて重要であり、全国的に見ても価値の高い資料。

成法寺蔵「絵馬」16 町指定



武者図は元禄4年(1691)大芦村皆川弥三郎、親子馬図は元禄9年(1696)和泉田組郷頭五十嵐仁右衛門が成法寺親音堂に奉納したもの。元禄期の数少ない絵馬として貴重。武者図縦42cm、横55cm、親子馬図縦34.5cm、横48cm。

小林・梁取の早乙女踊りと神楽 18 県指定



重要無形民俗文化財



梁取太々神楽

早乙女踊りは、早乙女、道化、囃子が各戸を訪れ、その年の豊作を祈願する。現在、小林は2月第1土曜日、梁取は新暦1月14日に近い土曜日に開催される。梁取神楽は鹿島神社(旧南郷村)の御遠宮の際、奉納されてきた歴史の古い神楽。

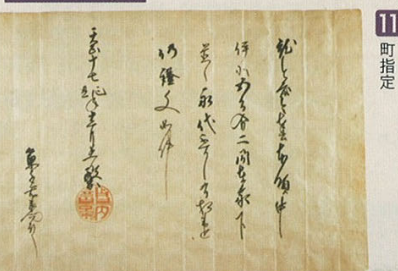
長谷部家文書 10 県指定



古文書

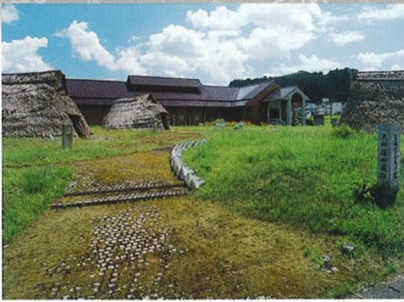
叶津番所役人、叶津村名主から肝煎、戸長まで動めた長谷部家が所蔵する古文書。八十里越、口留番所、鉾山、戊辰戦争、交易など江戸期から明治期までの歴史を伝える貴重な史料が残る。総点数3,475点。長谷部家住宅は県指定重要文化財。

山内家の伊達政宗知行安堵朱印状 11 町指定



天正17年(1589)に伊達政宗が梁取右衛門尉に伊北五百分二軒在家村を安堵した書状。表具されておらず、折り目も当時のままで古文書学的にも貴重。只見地方の中世史を考える上で不可欠の史料。縦36cm、横52cm。

奥会津地域の縄文時代から弥生時代の生活を知る貴重な遺跡。縄文・弥生住居跡7棟が発掘され、珍しい再葬墓が発見された。隣接して会津只見考古館があり、さまざまな土器・石器・土偶、装飾品などの出土資料を公開している。指定面積2,200㎡。



窪田遺跡 12 県指定

史跡



布沢木地師集落跡 14 町指定

木地師とは、ろくろを使い椀などの木工品をつくる職人集団をいう。ここでは寛政期から慶応期までの70年間、布沢宇東松山地内のブナ林に居住していた。山林内に住居跡、棚池跡、墓石が残っており往時をしのぶことができる。指定面積3,654.4㎡。



河井継之助の墓 13 町指定

慶応4年(1868)越後長岡藩家老・河井継之助は会津への敗走の途中、塩沢の地で亡くなる。享年42歳。茶毘にふされたあと拾い残された細骨を里人が集めて墓をつくった。昭和12年一部補修され、同53年に再整備された。

天然記念物①

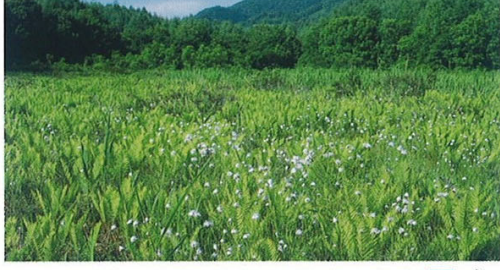


アカミノアブラチャン 21 町指定
赤い実をつけるアブラチャン(クスノキ科)で、町内でも長浜宇後山地区にのみ自生。治承4年(1180)、宇治川の戦いで敗れた高倉宮以仁王の郎党が追手の大将・石川冠者有光の首をはね、その血を浴びて実が赤くなったと伝えられている。



比良林のサラサドウダン 19 県指定
福島県緑の文化財産録47号

根周りが4mにもなるサラサドウダン(ツツジ科)の巨木。南北16m、東西14mもの大きな群落をつくる。治承4年(1180)、宇治川の戦いで敗れた高倉宮以仁王が、当地でこれを愛でられて以来、霊木としてあがめられてきたという。



大曾根湿原 20 町指定

大曾根山の山麓、標高720mに広がる面積23haの湿原。全体にヤマドリゼンマイの群落が広がり、ワタスゲの白い果穂やレンゲツツジのオレンジ色の花が咲く7月初旬が見ごろ。四季折々の花に彩られるが、秋の草紅葉も風情がある。



黒谷川の大コブシ 23 町指定

幹回り2.3m、直径73cm、樹高20mというキタコブシの巨樹。黒谷川左岸の風光明媚な場所に生育し、枝を張った扇形の樹形はみごとく、この地域のシンボルとなっている。木全体を真っ白におおう純白の花は、4月中旬が見ごろ。



石伏旧若宮八幡神社の大クリ 22 町指定

根回り8.5m、幹周り7.5m、直径2.7m、樹高18mもあるクリの巨樹。重厚な幹が立ち上がり、地上5m付近で大きく3本に分かる。屋久杉のように神秘的で威厳がある。周辺はヤマザクラの巨木も見られ、巨木の森の雰囲気漂う。

工芸品



五十嵐家旧蔵鰐口 8 県指定

鰐口とは、社寺のお堂の軒につるして網で打ちならす仏教具。全体が肉厚で、周縁に二重の圏線、中ほどに三重の圏線を回らせ南北朝から室町期の特徴をもつ。応仁元年(1467)の銘がある。直径23cm、厚さ8cm。修験だった五十嵐家のお堂にあったもの。



刺繍阿弥陀三尊種子懸幅 9 町指定

鎌倉・室町時代、極楽往生を願い、または死者の追善のために作られたもの。この種の繡仏は、県内では南相馬市阿弥陀寺といわき市薬王寺に見られるのみであり、会津地域での存在は貴重。絹本、着色、刺繍。縦99cm、幅37.2cm。

只見の自然と文化、見つけよう。

緑の文化財

三石神社の森

福島県緑の文化財登録418号



緑結びの神様・三石神社の手前に広がる杉とキタゴヨウからなる森。参道には杉の巨木が並び、林床の花々が美しい。森の北端には「三石神社の清水」がわいている。



イヌワシ 25 国天然記念物
山岳森林地帯に生息する山の王者。翼を広げると2mにも達する。食物連鎖の頂点にたつイヌワシが、生物多様性に富む豊かな生態系をもっている証である。



只見町のブナ
国内屈指の規模と原生林を誇る只見町のブナ林（布沢恵みの森や浅草岳登山道沿いが観察地）

ヤマネ 27 国天然記念物
手の平にはいるほどの大ききで、背中に1本の黒褐色の線が入っているのが特徴。夜行性で樹上生活をする。町内の山岳地帯に生息する。1属1種の日本固有種。



只見町文化財一覧

種別	名称	区分	指定年月日	所在地
建造物	成法寺観音堂	1	国指定	S38.7.1 梁取
	旧五十嵐家住宅	2	//	S47.5.15 叶津
	長谷部家住宅	3	県指定	S48.3.23 //
彫刻	木造聖観音菩薩坐像	4	//	S30.2.4 梁取
	銅造阿彌陀如来坐像	5	町指定	H14.4.23 黒谷
	銅造釈迦如来坐像	6	//	H14.4.23 //
工芸品	木造阿彌陀如来坐像	7	//	H17.3.30 //
	五十嵐家旧蔵罎口	8	県指定	H11.3.30 只見
	刺繍阿彌陀三尊種子懸幅	9	町指定	H14.4.23 黒谷
古文書	長谷部家文書	10	県指定	H17.4.15 叶津
	山内家の伊達政宗知行安堵朱印状	11	町指定	H13.4.23 梁取
史跡	窪田遺跡	12	県指定	S62.3.27 大倉
	河井継之助の墓	13	町指定	S58.4.1 塩沢
	布沢木地師集落跡	14	//	S59.9.10 布沢
民俗文化財	会津只見の生産用具と仕事着コレクション	15	国指定	H15.2.20 只見
	成法寺蔵「絵馬」	16	町指定	H6.4.25 梁取
	塩沢の製塩図および説明書	17	//	H13.4.23 塩沢
天然記念物	小林・梁取の早乙女踊りと神楽	18	県指定	H18.4.7 小林 梁取
	比良林のサラサドウダン	19	//	S36.3.22 大倉
	大曾根湿原	20	町指定	S61.1.23 梁取
	アカミノアブラチャン	21	//	S58.4.1 長浜
	石伏旧若宮八幡神社の大庆	22	//	H14.4.23 石伏
	黒谷川の大コブシ	23	//	H14.4.23 黒谷
	ニホンカモシカ	24	国天然記念物	S30.2.15 全域
	イヌワシ	25	//	S40.5.12 //
	オジロワシ	26	//	S45.1.23 //
	ヤマネ	27	//	S50.6.26 //
の福島県緑	比良林のサラサドウダン	福島県緑の文化財	S58.2.17 大倉	
三石神社の森	//	S58.2.17 只見		

[注] 展示されていない文化財は、左記の地図に表記してありません。
文化財めぐりモデルコース ※時間は車での移動時間です。※ご注意: 下記施設は、冬期間は閉鎖しています。

- 巨木めぐり 石伏旧若宮八幡神社の大庆.....15分.....黒谷川の大コブシ.....7分.....比良林のサラサドウダン
- 仏閣・仏像めぐり 瀧泉寺・仏像3体.....15分.....成法寺観音堂・木造聖観音菩薩坐像
- 建造物めぐり 旧五十嵐家住宅・長谷部家住宅.....20分.....成法寺観音堂
※旧五十嵐家住宅 10:00~16:00 火曜日休館 入館無料
※長谷部家住宅 10:00~16:00 火曜日休館 500円(大人) 300円(団体)
※成法寺観音堂 内部見学は予約が必要、外観見学は無料
- 歴史めぐり 河井継之助の墓・河井継之助記念館・山塩資料館(製塩図).....7分.....長谷部家住宅.....18分.....窪田遺跡・会津只見考古館
※河井継之助記念館・山塩資料館 10:00~16:00 木曜日休館 300円(大人) 250円(団体)
※会津只見考古館 9:00~16:00 月曜日休館 300円(大人) 250円(団体)

お問い合わせ先 **只見町教育委員会**
TEL 0241-82-5320 FAX 0241-82-2337
E-mail:kij_syougai@tadami.gr.jp

ニホンカモシカ 24 国天然記念物
日本固有種で、ウシ科の中では原始的な形態を残すといわれている。冬の終わりに春にかけての終り近い山の急斜面でよく見られる。只見町では、クラシッポという。



天然記念物②